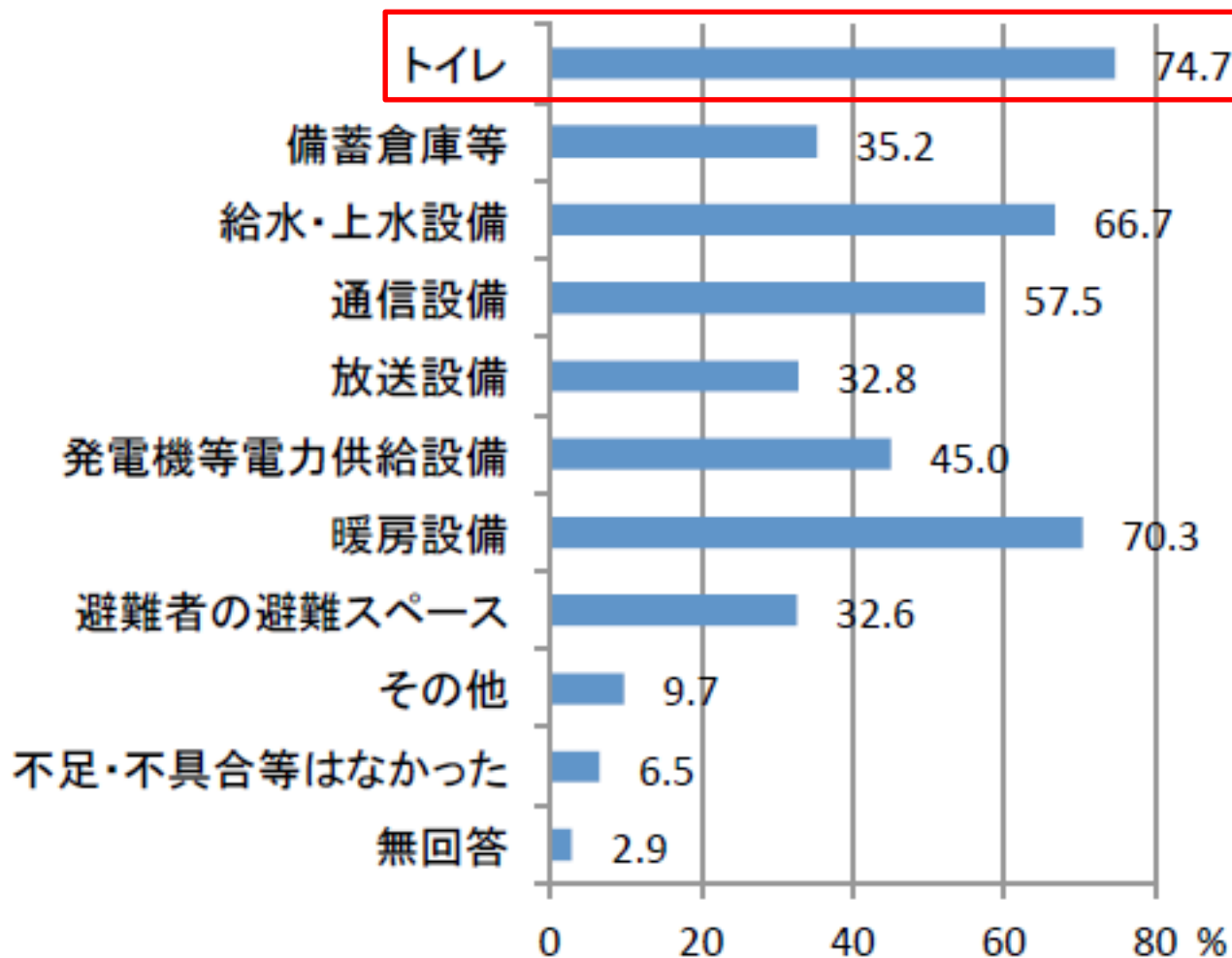


災害時におけるトイレ、なぜ必要？



ひなん所のトイレ

東日本大震災においてひなん所で問題となった施設・設備（調査：文部科学省）



トイレは...いのちに関わります。

原因①：水洗トイレは使えない

停電、断水、給排水管や汚染処理施設の損傷など、様々な理由でいつも使っている水洗トイレは、使用できなくなります。

(東日本大震災)

上水、下水道管の復旧に1ヶ月

原因②：仮設トイレが来ない

交通渋滞や道路の寸断などにより仮設トイレを運ぶトラック等が被災地に到着するまで時間がかかります。



撮影者：前田耕作

撮影日：1995年1月17日午後2時ごろ

(東日本大震災)

3日以内に届いた自治体 34%

原因③：トイレは我慢できない！

水洗トイレが使えない、仮設トイレも来ない…。多くの避難所では、仕方なくそのままトイレを使うことになり、汚物の山となってしまいます。

このような状況では、トイレに行きたくないから、水分や食事の摂取を控えてしまう人が多くなります。

その結果、体力低下による呼吸器感染症などにかかりやすくなったり、脱水症状やエコノミークラス症候群になる危険が高くなります。

熊本地震では、災害関連死が直接死の4倍を超えた。

もし首都直下地震が発生した場合、
東京都内では、
一週間後も約1割の家庭は断水していると
予想されています。

(内閣府 首都直下地震対策検討ワーキンググループ最終報告)



東日本大震災のときに
避難所となった
体育館の様子

突然ですが・・・

210

なんの数字かわかりますか？

(5人家族の例)

トイレ 6回/日

家族 5人

復旧に 7日

【携帯トイレの必要数】

6回×5人×7日=210個必要！

【トイレを備えよう！計算シート】

- あなたが1日でトイレに行く回数： _____回
× 7日分 = _____回分

- 家族の人数 _____人 × 1人 _____回分
= 家族みんなで備える必要があるトイレの数
_____回分

トイレは...いのちに関わります。

だから・・・まずは、事前にできる備えを！

非常用（携帯）トイレが自分や大切な人を救う！！

携帯トイレは、水が流せなくなったトイレ（洋式便器）に袋を取り付けて使用します。個人で持ち歩くほか、避難所等の施設や学校に備蓄しておくことで、災害時におけるトイレの衛生環境を守ることに繋がります。

また、在宅避難となり自宅のトイレが流せなくなった場合にも有効であるため、**自宅に備蓄しておく**ことも大切な備えとなるのです。

今回の携帯トイレづくり体験をきっかけに..!

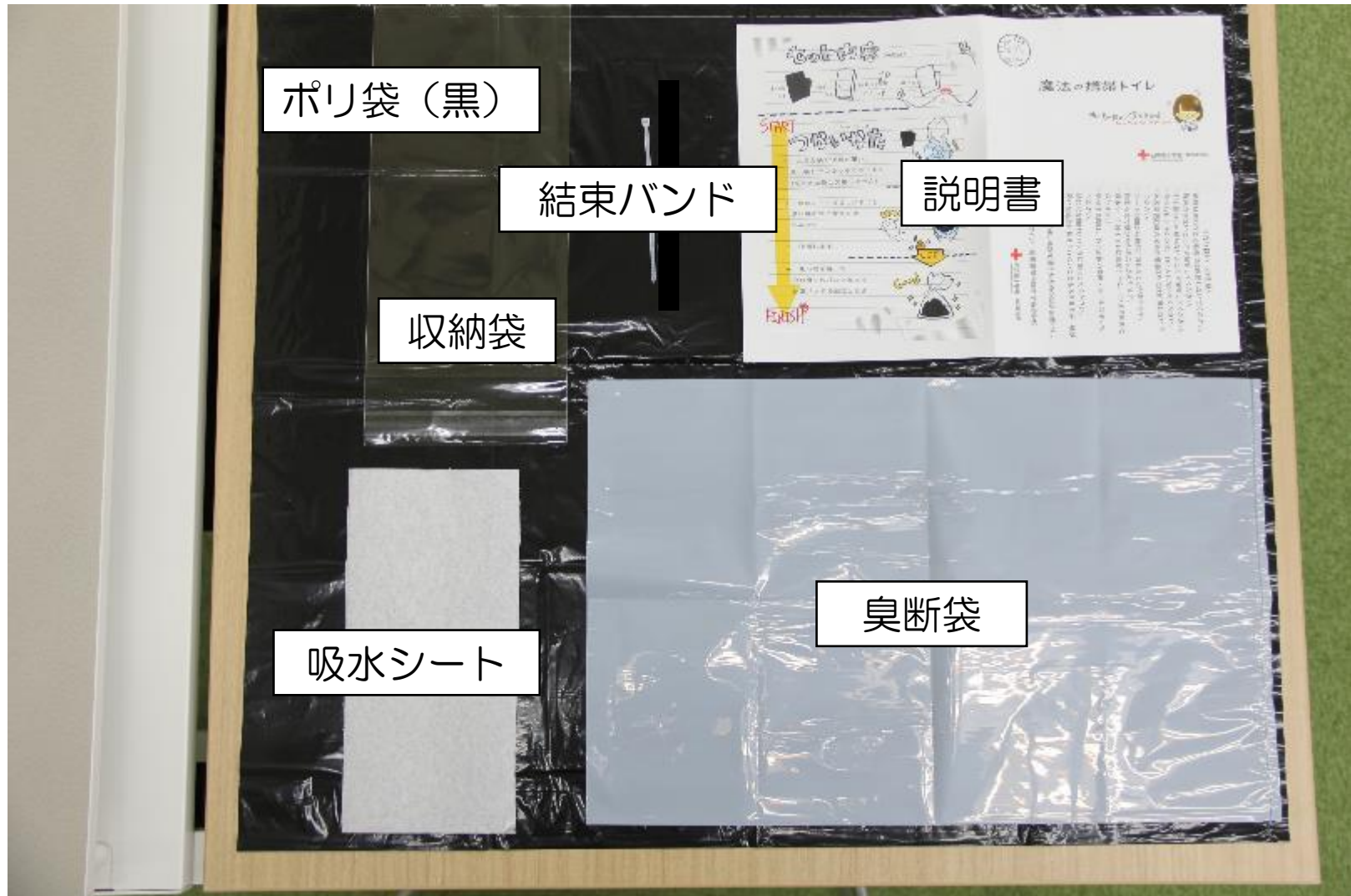
市販の携帯トイレには、たくさんの種類があります。今回は、お送りしている「魔法の携帯トイレ」で携帯トイレづくりを体験してもらいますが、もちろんこれだけでは備えとしては十分ではありません。

今回の体験をきっかけに、自分や家族に必要な

トイレの数を計算して、しっかりと備えてください。

「魔法の携帯トイレ」セット内容

(※携帯トイレセットの作成方法は別紙をご覧ください。)



「魔法の携帯トイレ」の使用方法（準備）

- ①使用前に便座の下に大きめのポリ袋をはさむ
(各自で用意してください)



溜まっている水を
カバーするため



※このポリ袋は付けた
ままにする

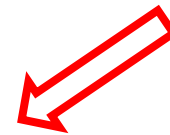
「魔法の携帯トイレ」の使用方法

②携帯トイレをセットする

③使用ごとに取り出して結ぶ



④魔法の袋に入れ
結束バンドでしっかり
留める



※手からの感染を防止するため、
手洗い用のウェットティッシュ
など一緒に準備しておきましょう

※各自治体のルールに従って処分して
ください